

令和6年度

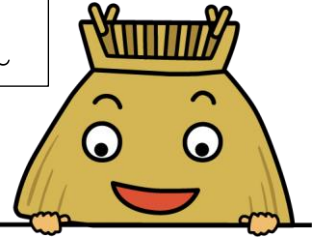
静岡市立登呂こども園  
グランドデザイン

【静岡市が目指す子どもたちの姿】 たくましく しなやかな子どもたち  
【静岡市立こども園が目指す子どもの姿】

- ・自己肯定感を高める子
- ・明るく伸び伸び生活する子
- ・夢中になって遊ぶ子
- ・自分らしく表現する子
- ・楽しんで関わる子

【高松中学校グループ小中一貫教育構想】

自らきりひらく生徒 ～主体性・社会性・継続性～



教育・保育目標

心豊かで たくましい子

重点目標

「やってみよう」「もっとやってみよう」と心を動かす

【学年目標】

- 0歳児 保育教諭と愛着関係を築き、安心して心地良く過ごす
- 1歳児 保育教諭との関わりの中で、色々なものに興味を持ち、安心して好きな遊びを楽しむ
- 2歳児 保育教諭に自分の思いを受け止めてもらう中で、様々な人や物と関わって遊ぶ
- 3歳児 自分の好きな遊びを見つけ、保育教諭や友達に思いを伝えながら遊ぶことを楽しむ
- 4歳児 色々な遊びに興味を持ち、自分の考えを出しながら友達と関わって遊ぶことを楽しむ
- 5歳児 友達と互いの力を出し合いながら、共通の目的に向かって遊びや生活を進める



心を動かしやってみようとする子

- ・「やってみよう」の思いやこれまでの経験をつなげ遊びを創っていく体験、人・ものと関わる環境作り
- ・試行錯誤と繰り返し遊び込む時間と場所の保障
- ・地域や様々な人の持ち味を活かした環境作り

友だちとの関わりを楽しむ子

- ・相手の思いに気づき、自分の思いを伝えることが楽しいと感じる環境作り
- ・異年齢の関わりが生まれる環境や活動の工夫
- ・友だちと過ごす楽しさを感じながら、お互いの良さ・多様性を認め合う為の支援

心も体も元気な子

- ・体を思い切り動かして遊ぶための環境作り
- ・一人一人を見守り、安心・安定をはかる。自分の良さに気づき、自分を大切にするための支援
- ・身の回りのことを意欲的にやってみようとする姿を見守る

研修テーマ

「やってみよう」「もっとやってみよう」を支える環境構成

信頼される園作り

【保護者との連携】

- ・保護者と子どもの姿や成長を共有する
- ・専門機関と連携した子育て支援
- ・サポートプランを基にした定期的な面談

【インクルーシブ教育・保育】

- 特別な支援を必要とする子どもの支援 (個別最適な支援につなげる)
- ・関係機関との連携

【職員の連携】

- ・一人一人に笑顔で接し、子ども理解に努める
- ・子どもの育ちと学びを支え、主体的な遊びを大切にする
- ・職員自身の持ち味を活かし、協力、学び合う

【地域の自然・文化の活用】

- ・登呂遺跡での古代米栽培、竪穴式住居での体験
- ・登呂公園や八幡山への園外保育、登呂博物館や消防署、商業施設見学を通して、ESD 教育の実践
- ・地域の方(楽寿会)との交流や「登呂の家」訪問
- ・地域行事への参加

【安全確保・災害対策】

- ・各訓練の実施 (災害・不審者)
- ・地域との連携 (小学校・自治会)
- ・交通安全指導

【近隣園・小中学校との連携】

- ・近隣園・小学校との交流(公開保育・公開授業・評議員会・学校対策)
- ・高松地区との連携による切れ目のない支援の推進
- ・子育て支援センター、待機児童園との交流
- ・中高生の職場体験と交流
- ・特別支援高校の奉仕作業